

春光懇話会会報

Wave21

2023.11

No. 186





令和5年度 会員総会

9月4日(月)ホテルニューオータニ「芙蓉の間」において開催されました。今年度は会員会社116社の役員など、約200名の方々が出席されました。

ご挨拶

春光会・春光懇話会会長 日立製作所名誉会長

川村 隆

川村でございます。本日はご多用のところ、令和5年度春光懇話会総会に多数の方々にご参集賜り、誠にありがとうございます。

総会の開催は、コロナ禍により、実に4年振りとなります。この間、皆さまにおかれましては、終わりの見えない状況が続く中で、公私ともに大変ご苦労されたと存じます。私共、春光活動も各行事や会合がことごとく中止となり、会員の皆さまにも種々ご迷惑をおかけしましたが、今年度に入り、ほぼ通常通りの活動を再開しております。

ただ、コロナ禍にあっても、様々な制約の中ではありますが活動は続けておりました。まず、春光活動の中核である、会員会社の役員から構成される「事業協議会」は、2021年の11月から再開しており、各社における「カーボンニュートラル」や「デジタルトランスフォーメーション」などに関する新しいビジネスや取り組みについての情報共有を続けておりました。また、下部組織である「総務部長会」や「事務局会」においても、各社のコロナ対応状況の共有などを行ってまいりました。さらに、各社営業活動への寄与を目的としました「営業部会」でも、新たな取り組みである「合同展示会」や「ビジネス協業会」などをスタートさせ、それぞれ具体的な受注に貢献しています。

改めてになりますが、旧日産コンツェルンのDNAをもった企業116社の集まりである春光懇話会の活動の目的・意義というものは「親睦をベースにしながら、経営や営業に資する情報交換やビジネス交流を活性化すること」であります。

会員の皆さま方には、活動の中心である「事業協議会」への積極的な出席を一層進めて戴くとともに、「営業部会」、「事務局会」、「会報編集委員会」等への積極的な参加を幹部の皆さまからも当該部門へ働きかけをお願いしたいと思います。

将来の春光懇話会の隆盛は、言うまでもなく、そうした若い世代が懇話会活動を通じて、本会の理解を深め、担ってゆくことに大きく左右されるからです。ぜひともこうした想いを共有していただきたいと思います。

さて、本日の総会には、8名の地域春光懇話会会長にもご出席をいただいております。遠路にもかかわらずご出席いただき誠にありがとうございます。また、コロナ禍においては春光活動を支えていただきましたこと改めて御礼申し上げます。国内52か所に広がる地域春光懇話会の運営につきましては地域会長の方々のご指導により特徴ある活動をいただいております。また、海外に目を転じますと、28か所の海外春光懇話会も国内以上に活発に交流をされております。ぜひとも、地域ならではの創意を凝らした取り組みによりさらなる活性化をお願いするとともに、各社の地域や海外での事業活動との連携を深めていただきますようお願い致します。

この場合は春光懇話会の活動に関するものが主ですが、各社長様をはじめとする経営陣には春光会を含めたご活動・互いの親睦の強化をお願いしております。企業の合併・離散等に伴う資本関係の大きな変更も多々発生する激動の時代に入っておりますが、激動だ



会員総会



懇親会

からこそ各企業間のつながりは以前にも増して重要になっております。各社長さんの間の人的つながりにより、温暖化など地球規模的事項への対策や、事業のビッグデータをフル活用しての新しい経営とか、リカレント教育を活用しての社内人材・社外人材の継続成長などにおいて、正しい対応が可能になったという例が増えてきています。どうかこれら新しい動きをこの春光会・春光懇話会の活動の中から育むことも皆さまの課題認識の中にしっかりと残りますようお願い申し上げます。

まだまだ、コロナ禍の影響も残り、ウクライナ情勢も含め、不透明な状況は続きますが、ぜひともこの春光の関係性を大いに活用していただき、さらなる情報交換・交流に努めていただけたら幸いです。

最後になりましたが、本日ご参集の皆さま方のご健勝と会員各社のご繁栄をお祈り致しまして、挨拶にかえさせていただきます。

<次第>

—総会—

1. 挨拶 春光会・春光懇話会会長
日立製作所 川村名誉会長

2. 紹介

【春光会】

- | | | |
|-----|---------------|--------|
| 会 長 | 日立製作所 | 川村名誉会長 |
| 副会長 | ENEOSホールディングス | 松下名誉顧問 |
| 副会長 | 日産自動車 | 内田社長 |
| 幹 事 | 三菱HCキャピタル | 川部特別顧問 |
| 幹 事 | 損害保険ジャパン | 西澤会長 |

【春光懇話会】

- | | | |
|-----|---------------|---------------------|
| 会 長 | 日立製作所 | 川村名誉会長 |
| 副会長 | 日立造船 | 古川名誉顧問 |
| 副会長 | ENEOSホールディングス | 松下名誉顧問 |
| 副会長 | ニッスイ | 的埜Executive Advisor |
| 副会長 | 三菱HCキャピタル | 川部特別顧問 |
| 副会長 | 損害保険ジャパン | 西澤会長 |
| 副会長 | 日産自動車 | 内田社長 |

【地域春光懇話会会長】

- | | | |
|---------|------------|------|
| 秋田春光懇話会 | 秋田日産自動車 | 三浦会長 |
| 福島春光懇話会 | 福島日産自動車 | 金子社長 |
| 群馬春光懇話会 | GNホールディングス | 天野会長 |
| 埼玉春光懇話会 | UDトラックス | |

立川関東地域統括責任者

- | | | |
|---------|-----------|-------|
| 千葉春光懇話会 | 日立製作所千葉支店 | 山室支店長 |
| 豊橋春光懇話会 | 東愛知日産自動車 | 青木社長 |
| 三重春光懇話会 | 三重日立 | 杉原社長 |
| 大阪春光懇話会 | 日立造船 | 谷所相談役 |

—懇親会—

3. 乾 杯 春光会・春光懇話会副会長
ENEOSホールディングス 松下名誉顧問
4. 中締め 春光会・春光懇話会副会長
日産自動車 内田社長



乾杯
春光会・春光懇話会副会長
ENEOSホールディングス
松下名誉顧問



中締め
春光会・春光懇話会副会長
日産自動車
内田社長

春光懇話会役員 2023年9月4日改選



会 長 川村 隆
日立製作所名誉会長



副会長 古川 実
日立造船名誉顧問



副会長 松下 功夫
ENEOSホールディングス
名誉顧問



副会長 的埜 明世
ニッスイ
Executive Advisor



副会長 西澤 敬二
損害保険ジャパン会長



副会長 内田 誠
日産自動車社長



副会長 川部 誠治
三菱HCキャピタル
特別顧問

(23.9.4就任)

春光会会員名簿

2023年11月現在

会 社 名	役 職	氏 名
(株)日立製作所	会 長 社 長 ◎名誉会長	東原 敏昭 小島 啓二 川村 隆
日産化学(株)	会 長 社 長	木下 小次郎 八木 晋介
SOMPOホールディングス(株)	会 長 社 長 特別顧問	櫻田 謙悟 奥村 幹夫 二宮 雅也
損害保険ジャパン(株)	◇会 長 社 長	西澤 敬二 白川 儀一
日産自動車(株)	○社 長 副社長	内田 誠 坂本 秀行
ENEOSホールディングス(株)	会 長 社 長 特別理事 ○名誉顧問	大田 勝幸 齊藤 猛 内田 幸雄 松下 功夫
ENEOS(株)	社 長	齊藤 猛
JX石油開発(株)	社 長	中原 俊也
JX金属(株)	会 長 社 長	村山 誠一 林 陽一
(株)ニッスイ	社 長 Executive Advisor	浜田 晋吾 的埜 明世
日油(株)	会 長 社 長	宮道 建臣 沢村 孝司
(株)ニチレイ	社 長	大櫛 顕也
日立造船(株)	社 長 相談役 名誉顧問	三野 禎男 谷所 敬 古川 実
(株)プロテリアル	社 長 副社長	Sean M Stack 村上 和也
UDトラックス(株)	社 長	丸山 浩二
日立建機(株)	会 長 社 長	平野 耕太郎 先崎 正文
三菱H C キャピタル(株)	会 長 社 長 特別顧問 ◇特別顧問	柳井 隆博 久井 大樹 三浦 和哉 川部 誠治
(株)日立ハイテク	社 長 名誉相談役 名誉相談役	飯泉 孝 宮崎 正啓 久田 眞佐男
日産車体(株)	社 長	吉村 東彦
ロジスティード(株)	会 長 社 長 名誉相談役	中谷 康夫 高木 宏明 鈴木 登夫
SOMPOひまわり生命保険(株)	社 長	大場 康弘
(株)NIPPO	社 長	吉川 芳和

[注] ◎会長 ○副会長 ◇幹事

春光懇話会会長・副会長

2023年11月現在

	会 社 名	役 職	氏 名
会 長	(株)日立製作所	名誉会長	川村 隆
副会長	日立造船(株)	名誉顧問	古川 実
	ENEOSホールディングス(株)	名誉顧問	松下 功夫
	(株)ニッスイ	Executive Advisor	的埜 明世
	三菱H C キャピタル(株)	特別顧問	川部 誠治
	損害保険ジャパン(株)	会 長	西澤 敬二
	日産自動車(株)	社 長	内田 誠

事業協議会会員名簿

2023年11月現在

会 社 名	会 員 名	
(株)日立製作所	代表執行役 執行役専務CMO 長谷川 雅彦	執行役常務 Deputy CHRO 田中 憲一
日産化学(株)	取締役常務執行役員 松岡 健	執行役員 川島 渡
損害保険ジャパン(株)	常務執行役員 中尾 公哉	常務執行役員 矢崎 幹人
日産自動車(株)	専務執行役員 田川 丈二	理事 渉外担当役員 後藤 収
ENEOSホールディングス(株)	常務執行役員 君島 崇史	
ENEOS(株)	常務執行役員 香月 有佐	常務執行役員 君島 崇史
JX石油開発(株)	取締役 副社長執行役員 高倉 昌孝	取締役 常務執行役員 白井 智
JX金属(株)	常務執行役員 小松崎 寛	執行役員 小倉 靖
(株)ニッスイ	取締役常務執行役員 山本 晋也	執行役員 馬場 太朗
日油(株)	常務執行役員 梅原 尚也	常務執行役員 首藤 健志郎
(株)ニチレイ	取締役上席執行役員 竹永 雅彦	取締役上席執行役員 田邊 弥
日立造船(株)	常務取締役 芝山 直	執行役員 峰村 健
(株)プロテリアル	常務執行役員 CSPO 増田 久己	執行役員 石川 桂
UDトラックス(株)	バイスプレジデント 柴崎 徹	バイスプレジデント 金丸 隆宏
日立建機(株)	執行役常務CHRO 豊島 聖史	執行役CDIO 遠西 清明
三菱H C キャピタル(株)	常務執行役員 成瀬 望	常務執行役員 佐藤 泰弘
(株)日立ハイテク	代表取締役 専務執行役員 谷口 昌弘	取締役 専務執行役員 禰寝 義人
日産車体(株)	取締役 専務執行役員 小滝 晋	CCO 牛込 正明
ロジスティード(株)	専務執行役員 佐藤 清輝	常務執行役員 西川 和宏
SOMPOひまわり生命保険(株)	取締役常務執行役員 岩切 健一	取締役執行役員CSO 鳥飼 淳一
(株)NIPPO	取締役常務執行役員 和田 千弘	執行役員 内山 尚典

新製品・新商品 紹介

日立プラントコンストラクション

体感！安全意識向上（ハイブリッドコース）のご案内 （見て！体感して！高度な安全意識を醸成）

0災害の達成は、企業において共通の目標です。

当社では、繰返し発生する労働災害から、災害が発生する原因や認識不足など、労働者が陥りがちな行動への注意を促す教育コンテンツとして、安全体感教育を提供しております。教育手法は進化を重ね、より一層高い危険感受性の醸成を教育効果としてめざし、従来の安全体感教育（装置使用）に、CG&VRシステム（デジタルコンテンツ）を組合せた教育により、一方通行となりがちな安全教育ではなく、「安全体感装置を用いた肌で感じる実体感」に加え、「VR装置による仮想体感」を行い、「CGを用いた教育資料」によるグループ討議を組合せた「対話型の安全教育」によって、参加者の「安全行動への気付き」「安全行動への合意形成」をめざすカリキュラムを提供しています。新入社員や中堅社員向けの安全教育カリキュラムとして多くの企業から採用頂いております。

CG&VRシステムを用いた仮想体感（例）

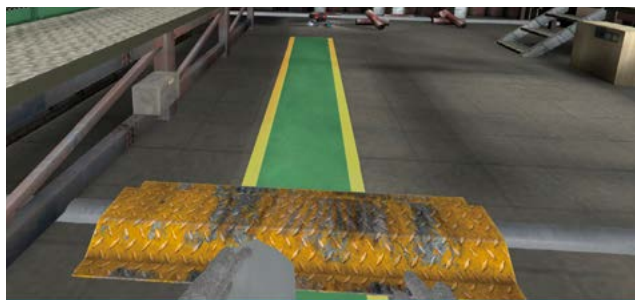
RiMM^{※1}によるVR災害体感となります。



足場組立時の墜落災害

〈若年技術者向け推奨〉

単管足場組立時、結束していない足場板の上を移動し、墜落・転落



躓き転倒災害

〈オフィス系従事者向け推奨〉

工場内で工具を取りに移動中、配管カバーに躓き転倒し被災

※1：RiMMリムは三徳コーポレーション株式会社の登録商標です。

体感装置を用いた教育（例）

体感装置は日立プラントコンストラクションオリジナルの装置です。



衝撃落下模擬



梯子昇降高所模擬



フルハーネスぶら下がり体感



有機溶剤燃焼模擬



【研修内容のご相談、受講申込はこちらへ】

施工教育センタ 柏研修センタ

☎04(7131)6153（直通）

先進のデザインとレジリエンス・デジタル機能を、より多くの建物へ 標準型エレベーターの新シリーズ「アーバンエース HF Plus」を販売開始

日立標準型エレベーターの新シリーズとして、意匠のバリエーション、災害に対するレジリエンス、利用者に安全・安心・快適を提供するデジタル機能、昇降行程・積載質量を強化(プラス)した、「アーバンエース HF Plus(エイチエフ プラス)」を2023年4月から日本国内で販売しています。

■「アーバンエース HF Plus」の特長

1. シンプルで上質な意匠

世界的なプロダクトデザイナーの深澤 直人氏が代表を務めるNAOTO FUKASAWA DESIGN LTD.監修による、統一感のある色調や凹凸の少ないフラットな形状は従来機種を継承。

新たに、トレンドを意識した塗装色の見直しや、4種類の乗り場用化粧鋼板を拡充しました。



乗りかご内の意匠イメージ



新規塗装色の乗り場意匠イメージ
(左：オリエントレッド、右：コバルトブルー)

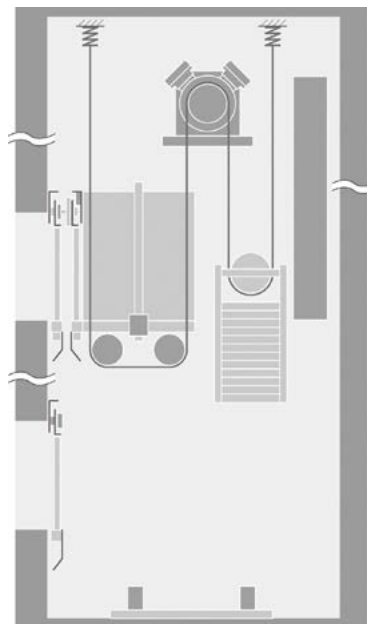
2. 災害に対するレジリエンスの向上

昇降路内の制御盤・巻上機を頂部に配置することで、豪雨発生時などの冠水リスクを最小化します。また、電気自動車からの給電で停電時のエレベーター利用を可能にする「Hybrid-PCS」に対応し、停電に対するレジリエンスを向上しました。

3. デジタル機能の強化

カメラでの顔認証でエントランス入場とエレベーター移動をタッチレスで行える「ダブルセキュリティ」に対応し、安全・安心・快適なマンション内の移動を実現します。

また、一定期間、検査未実施の項目を自動検出した場合に、乗りかご内の液晶インジケーターにアイコンでお知らせする、「エレベーター法定検査アラート機能」に対応しました。



制御盤・巻上機設置位置イメージ

4. 昇降行程・積載質量の拡大

従来機種と比べて、最大昇降行程を+40mの100m、最大積載質量を+750kgの1,750kgに拡大しました。これにより従来、オーダー型のみで対応していたエレベーターの約3割が標準型エレベーターで対応可能になります。

製品の詳しい内容につきましては、日立ビルシステムまでお問い合わせください。

問合先 0120-7838-99 (カスタマーサポートセンター)

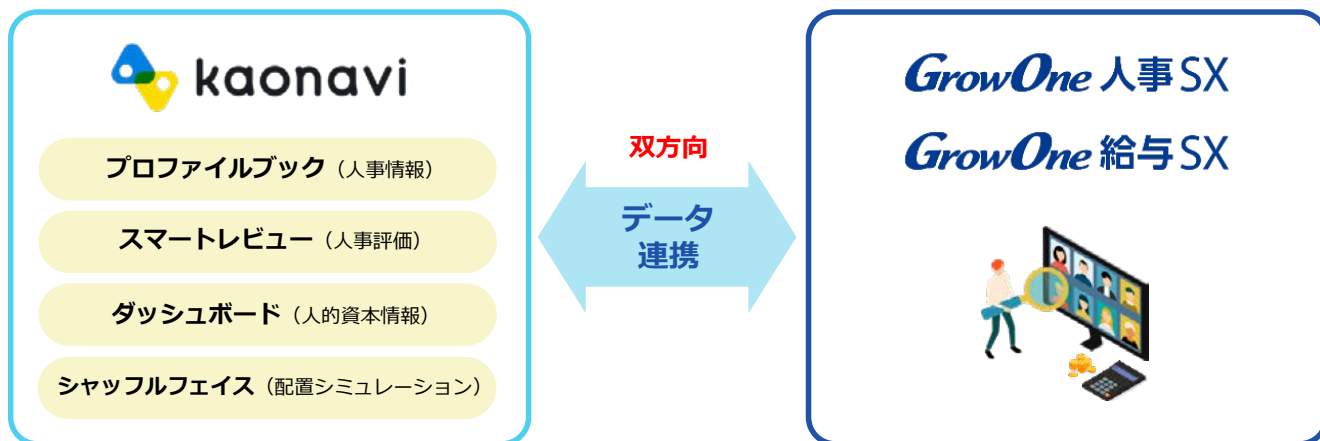
“タレントマネジメントシステム”と“人事・給与システム”の連携で 「人的資本」の情報開示を支援

2023年3月期の有価証券報告書より、日本でも「人的資本に関する情報開示の義務化」が一部の大手企業を対象にスタートし、今後、情報開示の要請対象は広がると予想されます。情報開示に対応するためには、人的資本の活用による組織強化を進めてははいかがでしょうか。

データ活用のためには、社内に散在している情報を収集する必要があると、効率的かつ正確にデータ収集を行うためにも、タレントマネジメントシステムの活用がおすすめです。ニッセイコムでは、株式会社カオナビのタレントマネジメントシステム「カオナビ」と、当社の人事給与・計算システム「GrowOne 人事SX／給与SX」との連携ソリューションを、ご提供しています。このシステムの連携では、「カオナビ」で管理する人事評価データを給与計算、賞与計算の結果に反映することや、「GrowOne 給与SX」で管理する〈給与等の人件費データ〉〈各種勤怠データ〉を「カオナビ」で可視化し、人材配置シミュレーションに活用することができます。

この機会にタレントマネジメントシステムを活用した人的資本の管理・活用を始めてみませんか。

※「カオナビ」「プロフィールブック」「スマートレビュー」は株式会社カオナビの登録商標です。



「カオナビ」と「GrowOne 人事SX」「GrowOne 給与SX」の連携
 問合せ nc@nisseicom.co.jp

日産車体

「キャラバン」誕生50周年を記念した特別仕様車『50th Anniversary』



本モデルは、2024年3月
までの期間限定販売と
なります

1973年に、ワンボックスタイプの商用バンとして日産車体で誕生した「キャラバン」。10月10日(火)、誕生50周年を記念した特別仕様車『50th Anniversary』が日産自動車から発売されました。

GRAND プレミアムGXをベースに、黒を基調としたブラックグリルやサイドターンランプ付電動格納式リモコンドアミラー、ブラックドアハンドル、ブラックスライドドアレール、ブラックインレットグリル、ブラックバックドアフィニッシャーを特別装備。「50th Anniversary」のロゴ入りエンブレムをATフィニッシャーとリヤに、さらにステッカーをボディサイドへ配し、ヘッドレストには刺繍を施すなど、50周年記念車の特別感を演出しています。

日産キャラバン「50th Anniversary」公式サイト

https://www3.nissan.co.jp/vehicles/new/caravan/specifications/50th_anniversary.html

特集

わが社のコミュニケーションツール

キャラクター、グッズ、共有スペース、ITツールなどを駆使した、各社各様の個性あふれたステークホルダーコミュニケーションをご紹介します。

ニッスイ

新しくなったニッスイのコミュニケーションツール

ニッスイは、2022年4月に新たなミッション(ブランドプロミス)を定め、同年12月に社名を日本水産(株)から(株)ニッスイに変更。ニッスイの強みや魅力、ありたい姿を多くのステークホルダーに知っていただくために、リブランディングに取り組んでいます。

当社のコミュニケーションツールは、『統一した印象で“ニッスイらしさ”を伝えていく』ことを軸に、ニッスイブランドを表現する「コネクティングフレーム」や「コミュニケーションカラー」など、新たに定めた当社独自のエレメントを活用しています。例えば名刺は、裏面のデザインを「コネクティングフレーム」と「コミュニケーションカラー」を使用場面に応じたバリエーションで組み合わせ、どのデザインからも“ニッスイらしさ”を感じ取れるようにしました。従業員と社外の方との間に、新しくなったニッスイについて語り合うきっかけを創り出しています。



【名刺のデザイン】

また、2023年度に作成したコミュニケーションツールは、ニッスイらしさを伝えることはもちろん、ニッスイブランドへの共感を促す役割も担っています。

例えば、「GOOD FOODS for YOU! (「人々により良い食をお届けしたい」という当社の志を表現した言葉)」を活用して制作したクリアファイルやステッカーです。どちらも、従業員一人一人がニッスイブランドに愛着を感じ、そして、新しいニッスイを創り上げていくことを楽しんでもらいたいという想いで制作しました。ステッカーは従業員限定で配布し、思わずどこかに貼り付けたいデザインに仕上げることで「かわいい」「GOOD FOODS for YOU!に愛着が沸いた」など好評の声を集め、多くの従業員が身近なアイテムに貼り付けて楽しんでいます。

引き続き、さまざまなコミュニケーションツールを通じて、“ニッスイらしさ”を伝え、ニッスイブランドへの共感を促していきたいと思います。



【GOOD FOODS for YOU! ステッカー】



【ステッカーを身近なアイテムに貼って楽しむ従業員】

コミュニケーションを強化する ブランディングツールとアイデア

当社が社内外のコミュニケーションを向上させるためのツールとして、活用しているものを紹介します。

○本社オフィス内のコミュニケーションスペース

当社本社ビル(中央区京橋)は、メインコンセプトを「JUNCTION(つなぐ)」、そして建築設計コンセプトを「道」としており、道路会社であるNIPPOらしいビルになっています。内部空間を平・断面的に「道」でつなぎ、人のつながりを生み出す多様なワークスペースをつくり、創造活動を触発する空間を構築しました。階段まわりで人の交差するスペースにタッチダウンスペースを設置することにより、上下階の他部署も含め、偶発的なコミュニケーションを図ることができます。



本社ビルのコミュニケーションスペース

○自転車チームのグッズ

当社は、自転車ロードレース競技への協賛と「TeamNIPPO」への支援を行い、35年以上にわたって自転車競技への振興をお手伝いしています。チームの応援グッズや記念品を作成し、レースに応援に来てくださった方に配布しています。チームカラーやロゴが入った応援グッズにより、観客同士の仲間意識や一体感が生まれ、大いに盛り上がります。また観戦客の応援は、選手たちが高いパフォーマンスを発揮する原動力となります。



TeamNIPPO 応援グッズ・記念品



○当社マスコットキャラクター「ミッチーくん」グッズ

キャラクター「ミッチーくん」を、社内外の配布資料に掲載、グッズ類の作成、本社主要事業所へのぬいぐるみを設置、着ぐるみによるPR活動等、多方面に展開しています。出前授業を行う際には、子どもたちに文房具類のグッズを配布し、学生向けのPR活動にも役立てており、社内外から好評の声を多数いただいています。



マスコットキャラクター「ミッチーくん」グッズ

損保ジャパンのアイドル、ジャパンダ！ & 歴史がわかる社史コーナーと防災展示

ジャパンダ

パンダと当社名損保ジャパンの「ジャパン」を掛け合わせ2014年に誕生した、公式マスコットキャラクターの「ジャパンダ」をご紹介します。ジャパンダは、お客さまの安心・安全・健康を願い、大切な瞬間に寄り添う身近な存在として、防災イベントやスポーツイベントなどの社外向けイベント、表彰式などの社内イベントにも出演し、お客さまや代理店の皆さま、社員からも人気を集めています。

また、各部署がチラシやノベルティ、名刺などの作成時に利用できるジャパンダイラストは350種類以上のデザインを展開しており、多くの社員に活用されています。今年度は新しく手話をしているジャパンダを作成し、営業店や代理店の店頭で耳の不自由なお客さまが来店された際に活用できる「指さしシート」も作成しました。

今後もお客さまや代理店の皆さまとのコミュニケーションツールの一つとして、様々な場面でジャパンダに活躍してもらい、より多くの方に当社の取り組みや活動を知っていただけるよう取り組んでまいります。



© JAPAN-DA

社史コーナー、防災展示

新宿本社ビル1階にある社史コーナーと、日本橋ビル1階にある防災展示をご紹介します。

社史コーナーでは、当社の前身である東京火災から現在の損保ジャパンに至るまでの歴史・沿革の他、当時の代理店看板や鳶口、ちょうちん看板など、現物ではなかなか見ることができない貴重なものも公開しています。

防災展示「REAL SOMPO PARK～ジャパンダの防災博物館」では、過去の災害年表や当社の防災に関する取り組み、防災グッズなどを展示しています。

当社にお越しになられたお客さまや代理店の皆さまに当社の歴史を知ってもらい、また、防災についてより身近に考えていただくきっかけになればと思っています。



耳が聞こえにくい方はお気軽にお知らせください。以下指差しいただけますと幸いです。



ご希望の会話方法を教えてください		わかりづらい場合お伝えください
 口話で話します	 筆談で話します	 もう一度お願いします

ご希望の手続きを教えてください

 自賠償の変更です	 自賠償の解約です	 その他の手続きです
--	---	--



社史コーナー



防災展示「REAL SOMPO PARK～ジャパンダの防災博物館」

課題を解決するためのヒントが見つかる!? 日立のオウンドメディア「社会イノベーション」

日立は、長年培ってきたIT、OT、プロダクトを用いて、世界中のさまざまな社会課題の解決に取り組む「社会イノベーション事業」をグローバルに展開しています。その事業の名前からとった日立のオウンドメディア「社会イノベーション」は、いろいろな課題を解決するためのヒントが見つかるビジネスパーソンのためのウェブメディアです。気候変動や高齢化、感染症の拡大など、私たちの生活やビジネスには、多くの変化の波が押し寄せています。こうした社会課題やビジネス課題を解決し、誰もが快適に、安心して、健やかに暮らせる社会をつくるため、日々、さまざまな「社会イノベーション」が生まれています。そんな「社会イノベーション」の取り組みをはじめ、生成AIといった最新のテクノロジーやビジネストレンドなど、読者の皆さまに幅広い情報を届けています。



オウンドメディア「社会イノベーション」



オウンドメディア「社会イノベーション」のメールマガジン

ウェブサイトでは多様な特集を設けています。例えば特集「日立の人」では、世界中に32万人の従業員を擁する日立グループの従業員の取り組みや人柄を記事と映像で紹介しています。また、多様性の力を尊重する特集「COLORS」で、有識者へのインタビューを通じ、誰もが働きやすい職場環境を作るために大事なことは何なのかを考えるきっかけとなる映像と記事を連載しています。

さらに、オウンドメディアのメールマガジンでは、編集部のおすすめ記事や有識者によるコラム、イベントの告知など最新の情報を配信しています。

日立は他にも、X（旧：Twitter）、FacebookやLinkedIn等で、さまざまなコンテンツを配信しています。ぜひウェブサイトへ訪れてみてください。ビジネスでのヒントになるかもしれません。

- * オウンドメディア「社会イノベーション」
<https://social-innovation.hitachi/ja-jp/>
- * X(旧：Twitter) https://twitter.com/Hitachi_Japan
- * Facebook <https://ja-jp.facebook.com/hitachi.web/>
- * LinkedIn(英語) <https://jp.linkedin.com/company/hitachi>
- * Instagram(英語) <https://www.instagram.com/hitachi/>
- * YouTube <http://www.youtube.com/hitachibrandchannel>



X(旧：Twitter)のホーム画面 ぜひフォローお願いします！

“出社したくなるオフィス” で、 コミュニケーション活性化

JX石油開発本社では、コミュニケーションが取りづらいコロナ禍であった2021年10月に、コミュニケーション活性化と多様な働き方を実現するため、オフィスリニューアルをおこないました。それと同時にフリーアドレスを導入し、出社をした際も固定席ではなく、自分の好きな場所・その日の業務に合わせた場所で働くことができるようにしました。

オフィスリニューアルでは、通常の執務用デスク・チェアのほかに、簡単な打ち合わせができる交流スペースを執務室内に数か所つくりましたが、その中でも社員に人気があるのが会議室から改装したラウンジです。長さ3.8mの大きなテーブルを中心に、周りにライブラリーコーナーや様々な種類のドリンクを楽しめるコーヒーサーバーなどを設けることで、社員が歓談や打ち合わせが自由にできるスペースになっています。また、社内でも特に景色がいい場所の一つでもあるので、フリーアドレスを利用して、周りの景色を見てリフレッシュしながら仕事ができるスペースとしても使われています。ラウンジでは、バレンタインや七夕などの季節に合わせたイベントや、国際女性デーなどの記念日に合わせたイベントを定期的に行っており、ドリンクやお菓子を片手に、部署を超えたメンバーでの交流が生まれています。

当社は、フリーアドレス以外にも、コアタイムなしのフレックスタイム制度、テレワーク制度が浸透しており、場所や時間に縛られることなく、最適な働き方が選べる環境を整えています。そんなどこでも仕事ができる時代だからこそ、“出社したくなるオフィス”で社員間のコミュニケーション活性化に取り組んでいます。



テーブルを中心に、落ち着いた空間のラウンジ



執務エリアの中央にも、コミュニケーションスペースを設置



ラウンジでのイベントの様子

「第2の創業」を迎え、「真のソリューションプロバイダー」として成長をめざす姿を伝えます

日立建機には、1950年に機械式ショベルの量産を開始して以来、70年を超える歴史があります。その歴史の中で、2022年には、新たな株主パートナーを迎え入れた「筆頭株主の異動」と、長年の業務提携の解消による「米州市場における本格的な独自事業開始」という、大きな二つの経営環境の変化がありました。70年以上の歴史において、今は「第2の創業」とも呼ぶべき新たな出発点・転換期にあります。

日立建機の主なコミュニケーションツールは、社外向けに会社案内(紙・PDF)、企業広告、社外情報誌「TIERRA+」、Webサイト、公式YouTube、社内向けにはWebグループ報を制作しています。また、公式SNS(Twitter、Facebook)を十分に活用することで、より多くの人々が当社の広報案件に接する機会を増やす取り組みを進めています。

こうした各種ツールに加え、大きな二つの経営環境の変化を経て「第2の創業」を迎えた今と未来の姿を伝えるため、2022年9月8日、書籍「日立建機第2の創業へ 世界の現場をオレンジ色に」がダイヤモンド・ビジネス企画から出版されました。多くのステークホルダーの皆さまにご購読いただきましたが、嬉しい反響としては、書籍を読んだ大手メディアから継続的に取材の打診をいただけたことです。最近では7月18日から8月18日にかけて、日経産業新聞に平野耕太郎執行役員兼CEOの連載企画「仕事人秘録」が22回にわたって掲載されました。その後、日本経済新聞社の許諾を得て、社内向けに「仕事人秘録」の記事全編を公開し、社内で新たなコミュニケーションが生まれるなど、情報の連鎖が好循環しています。

今後もコミュニケーションツールを通じて、ステークホルダーの皆さまに、日立建機が「真のソリューションプロバイダー」として成長をめざす姿をお伝えしていきます。



書籍「日立建機第2の創業へ 世界の現場をオレンジ色に」



企業広告



YouTube <https://www.youtube.com/@HCMchannel>

ITツール・共用施設の活用で 社内コミュニケーションを促進

大型トラックを主力製品とするトラックメーカーであるUDトラックスでは、社内コミュニケーションにITツールを積極的に導入しています。

まずは情報展開・共有を主な目的とするイントラネット、次に国内外の社員が自由にメッセージ・写真・動画を投稿できる「社内ソーシャルネットワーク」の役割を担うViva Engage(旧称Yammer)のプラットフォームで、後者では社員間の活発なコミュニケーションが日々行われています。

多国籍の社員が在籍している職場環境を考慮し、イントラネットは日本語版・英語版双方で記事・情報が展開され、社内ソーシャルネットワークにメッセージを投稿する際にも日本語だけでなく英語を併記し、より多くの社員に情報を届けるべく配慮がなされています。その他、リアルタイムにアンケートや質問に回答するといった双方向コミュニケーションが可能なMentimeter(メンチメーター)というツールも社内イベント等で活用しています。

埼玉県上尾市の本社建屋には、階ごとにフリーコミュニケーションエリアを設け、飲食や休憩スペースとしての使用のみならず、スウェーデン語で「お茶の時間」を意味するFIKA(フィーカ)と呼ばれる社員が集い交流する場の会場として、歓送迎会や社員の交流会等で使用されています。

また、本社に設けられたジムは、社員の健康維持・増進をサポートするだけでなく、仕事でやり取りの少ない社員同士の交流の場としても活用されています。

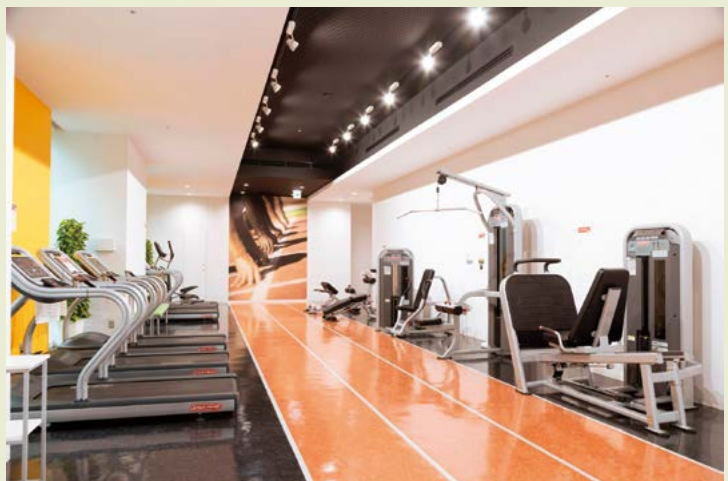
当社のマスコットの存在であるUDディベアは、国内外で着用されているユニフォームを身にまとい、愛くるしい姿で社内外のイベント等で販促ツールとして活用されています。ディーラーの受付でお客様をお出迎えし、大型トラックから連想される重厚なイメージを和らげることに一役買っています。



フリーコミュニケーションエリア



UDディベア



本社ビル内のジム

第19回 春光懇話会全体セミナー開催

7月26日(水)、損害保険ジャパン本社ビル2階大会議室において、「今後の人財の在り方」をテーマに全体セミナーが開催されました。

全体セミナーは、春光会22社を超えて会員会社全体を巻き込んだ横断的な情報交換の場として、2003年から開催しているものです。

今回は、日立アカデミーの迫田社長より基調講演をいただき、続いて会員会社7社より各社取り組みの発表がありました。

当日は、会員会社、関係先より約150名の方々がご出席され、情報交換の面でも大変有意義なセミナーとなりました。終了後には、損害保険ジャパン本社ビル3階にて懇親会を行い、発表いただいた方々への慰労も含め、さらに親睦、交流をはかることができました。

全体セミナー 次第

(敬称略)

テーマ	「今後の人財の在り方」
基調講演	「私たちを取り巻く環境の変化と人財施策」 日立アカデミー 取締役社長 迫田 雷蔵
各社 取り組み 報告	◆ENEOS 「当社の人事戦略と新人事制度について」 人事部 勤労グループ シニアスタッフ 大島 卓也
	◆日産自動車 「日産自動車における人財の多様化」 人事本部 日本人財開発部 部長 蛭原 淳
	◆日立ハイテク 「日立ハイテクのダイバーシティ推進」 人事総務本部 ダイバーシティ推進グループ 部長代理 松本 愛子
	◆ニチレイ 「ニチレイグループの健康経営について」 人事部 ニチレイ健康推進センター 副センター長 酒井 麻路
	◆日産車体 「人の成長とからくり改善」 日産車体マニュファクチャリング 代表取締役社長 梶井 亮
	◆JX石油開発 「JX石油開発の人財戦略～仕事基準の新人事制度～」 人事部人事企画グループ マネージャー 川上 俊介
	◆損害保険ジャパン 「人財の在り方～企業業績とウェルビーイングの観点より～」 SOMPOリスクマネジメント コーポレート・リスクコンサルティング部 戦略開発グループリーダー 工学博士 鈴木 健一郎
ご挨拶	副会長 的埜 明世 (ニッスイ Executive Advisor)
懇親会	◇ご挨拶 事業協議会会員 鳥飼 淳一 (SOMPOひまわり生命保険 取締役執行役員CSO)
	◇中締め 事業協議会会員 後藤 収 (日産自動車 理事渉外担当役員)



ご挨拶 的埜副会長



日立アカデミー 迫田社長による基調講演



全体セミナー会場風景

各社 取り組み 報告



ENEOS
大島 氏



日産自動車
蛭原 氏



日立ハイテク
松本 氏



ニチレイ
酒井 氏



日産車体
梶井 氏



JX石油開発
川上 氏



損害保険ジャパン
鈴木 氏

懇親会



懇親会挨拶
鳥飼事業協議会会員



中締め
後藤事業協議会会員



2023年10月～12月 第24回春光懇話会キャンペーン展開中!

春光懇話会営業部会の「ビジネス交流強化キャンペーン」は今年で24回目を迎えることになりました。これもひとえに皆さまの温かいご支援、ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

第24回キャンペーン活動についてはコロナの影響もほとんどなくなり、営業部会会員が実際に集合して合同展示会、決起大会・懇親会を実施しました。

合同展示会では会員各社が商材PRを行い、お互いの会社を改めて知る機会になりました。また、決起大会では営業部会会員がお互いに親睦を深め、営業部会の活性化につながっています。

今後も営業部会活動を前進させていく所存ですので引き続きご支援方、よろしくお願いいたします。



キャンペーンは大きく以下の3点を主眼にして取り組んでいます。

- ① 会員企業間でお互いのビジネス拡大を図ること
- ② 会員企業の商品を数多くご利用いただき、その良さを知っていただくこと
- ③ グループ企業の従業員とご家族の皆さまに広く春光懇話会を知っていただくこと

第24回キャンペーンの具体的な取り組みは次の通りです。

1. 春光懇話会ホームページに会員企業が希望する商品などをタイムリーに掲載していただけます。会員各社は自社商品の販売拡大のため、積極的なご活用をお願いします。
2. 春光懇話会をより多くの方に幅広く知っていただく目的で春光クイズを実施していますが、今回も継続します。クイズにご応募いただくことにより、正解者の方にパンフレット裏面掲載の会員会社提供の素敵な賞品が抽選でプレゼントされます。
クイズ応募要領ならびに問題はパンフレット11ページの下段に記載していますのでご確認のうえ、ご本人ならびにご家族の皆さまからのご応募をよろしくお願いいたします。

お知らせ

●春光会幹事

○就任

川部 誠治（三菱HCキャピタル）

○退任

三浦 和哉（三菱HCキャピタル）

●春光懇話会副会長

○就任

川部 誠治（三菱HCキャピタル）

○退任

三浦 和哉（三菱HCキャピタル）

●事業協議会

○入会



石川 桂
プロテリアル
執行役員

○退会 山本 徹（プロテリアル）

日立グループ創業の地、茨城県日立市

日立製作所(以下、日立)は、日立市にあった日立鉱山の電機設備全般を担う部門として1910年に創業しました。鉱山や発電施設等で使用されていた電気機械のほとんどを外国製品に頼っていた時代、創業者である小平浪平は「自分たちの使う機械は自分たちで作る」という強い意志のもと、多くの業務の傍らで製品の研究を続けました。そして1910年に日立最初の製品となる「5馬力誘導電動機(通称:5馬力モーター)」を完成させました。

以降日立は、「優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献する」という企業理念を大切にしながら、日立市から拠点を広げていき、長年培ってきたIT、OT(運用・制御技術)そして幅広いプロダクトを用いて世界中の社会課題の解決に取り組む「社会イノベーション事業」をグローバルに展開しています。

創業から110年を経た2021年、日立は創業の地である茨城県日立市に、企業理念やこれまでの歩みなどを広くステークホルダーに共有することを目的として、企業ミュージアム「日立オリジンパーク」を開設しました。同施設は、日立の福利厚生施設である「大みかクラブ」「大みかゴルフクラブ」の敷地内に、日立創業の精神を学べる「小平記念館」と5馬力モーターが誕生した工場を復元した「創業小屋」を新設して誕生した複合施設です。館内に展示されている五馬力誘導電動機は、今年、国の重要文化財に指定されました。当施設は、従業員に加えて、一般の皆さまにも楽しんでいただけます。

「日立オリジンパーク」の近辺には、1934年に設立された歴史ある日立研究所や、社会インフラ分野をはじめとする情報制御システムの開発から運用保守までを行い、日本企業で初めて世界経済フォーラムより世界の先進工場「Lighthouse」に認定された大みか事業所もあります。日立市は「ものづくりのまち」として発展してきましたが、西は阿武隈山系に連なり、東は太平洋の海岸線に臨み、豊かな自然と穏やかな気候に恵まれ、春には市内が桜でいっぱいになります。また、来年は創業者小平浪平の生誕から150年という節目の年です。ぜひ日立オリジンパークを訪れてみてください。



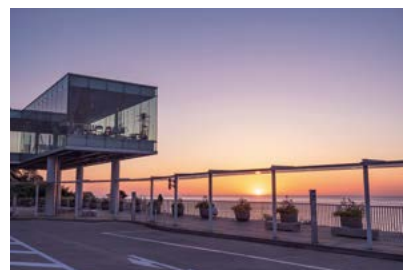
「小平記念館」正面



国の重要文化財に指定された「五馬力誘導電動機」

かみね公園の展望台から望む
日立市内と太平洋

日立さくらまつり



日立駅

日立オリジンパーク 茨城県日立市大みか町6-19-22

☎0294(87)7575